

共通講座⑤

「交通安全講習会」

日時：8月29日(火)10:00～12:00

場所：青少年センター



今回は「豊田市交通安全学習センター」より講師を招き、交通安全の学習をしました。どんな状況での事故が多いのかを知り、横断中や運転中の注意事項を改めて確認できました。まだまだ元気に活動するには、車や自転車の運転は必要となります。この学習を機会に、周りの人への配慮と交通安全意識を高め、快適な生活を送られるといいですね。



市内で最近発生した交通事故状況について、データと写真を交えた解説は、とても実感がわきました。普段乗る機会は少なそうですが、自転車の安全運転、ヘルメット着用などは、改めて気付くことができました。横断歩道はきちんと白線の上を歩くことでドライバーは認識します。歩行中、運転中に注意する意識をしっかり持つ事で事故は減ります。



この「反応棒」を使い、タイミングよくつかめるかどうかで反射神経を確認しました。



▲アシスタントの南川さん(左)
講師の飯田さん(右)

「夜間の視認性体験」では、会場を消灯して暗闇でTシャツの色の認識が正確にできるのかを体験。夜間歩行時は反射材を着用するとライトの光を受けて気付かれやすくなることなどを学びました。

学生のふりかえりより

- ・自分はまだまだ大丈夫と思っていても年々運転に自信がなくなっていますので、講習を受講して改めて運転（特に夜間）には気を付けるよう気持ちが引き締まりました。
- ・高齢者の事故が多いので注意したいと思いました。運転時だけでなく歩行時もきちんと横断歩道を渡る。交通量が少ない道など、つい近くで横断してしまうので注意したいと思います。また夜は白、黄色以外の色が全然見えなかったのでショックでした。
- ・暗くなると昼間目立つ赤い服は闇に消えてしまう！夜、横断歩道近くではなく、横断歩道の上をきちんと歩くことで横断歩道の白が反射して歩行していることに気付いてもらえる。時々、自転車に乗るのでヘルメットが自分を守ることがよくわかりました。
- ・交通安全についてはもうわかっていると思っていたけど、講座を受けたら大変有意義でした。ドライブレコーダーを使った映像や具体的な事故事例など興味深く印象的でした。
- ・自転車に乗る際のヘルメット着用の有無での危険性について改めることができました。Tシャツの色によって目立つ・目立たないがはっきりわかりました。反射材の効果や光が当たらなければ効果がないことなどよく理解出来ました。ヘルメット購入に補助があることも初めて知りとても学びの多い会でした。